

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600214
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホームはまゆう
所在地	鹿児島県阿久根市脇本6778-39 (電話) 0996-75-1122
自己評価作成日	平成27年9月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年11月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の行動をなるべく制限せず、歩きたいところまで御一緒する。施設外へ歩く方もおり、近くの駅まで一時間一緒に歩くこともよくある。裏の海水浴場へも行き、砂浜を歩く事もある。2ユニットある為、18名一緒に合同でレクリエーション等を行い、喜んで頂いている。風除室で過ごす方、本を読んで過ごす方、それぞれのペースで過ごして頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、国道3号線付近に位置し周辺に田畑を望む穏やかな風景があり、季節の移り変わりを感じることができる。近隣には海水浴場がある。
- ・地域とは、海岸の清掃、鬼火だき、地域の運動会など様々な行事を通じて交流したり、集落の総会に参加して関係を深め津波を想定した防災訓練にも積極的に参加している。また、ふいに外出される利用者の見守りや安全の確保を依頼するなど協力関係も構築されている。
- ・ホームの理念は、その人らしい生活の実現、安心した暮らし、自立心の維持や地域とのふれあいを大切にすといった運営理念となっており、朝礼や会議では職員心得を唱和し理念と同様に職員に周知徹底され浸透している。
- ・火災や地震時などは地域の協力体制があり、ユニットごとにパッケージ型消防設備を備えている。職員は、初期消火に力を入れるとともに地域の防災訓練にも積極的に参加している。また、水や米などの備蓄も完備している。
- ・ホームの庭には菜園があり、季節の旬の野菜を利用者と一緒に収穫したり、毎日の食事に取り入れるなど活用されている。誕生会や家族会などの行事食、家族の協力や職員と一緒に外食を楽しむなど食の楽しみが持てるよう支援している。また、利用者の能力に応じて片付けや野菜の皮むきなど役割を決めて調理に参加してもらっている。
- ・24時間対応の医療連携体制があり、毎月1回の訪問診療や随時の往診、他科受診、重度化から看取りに至るまでの過程で適切な医療が受けられるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時に唱和し、意識づけを行っている	尊厳や安心、自立心の尊重やなじみの暮らし、地域交流といったホームの理念はもとより「職員心得」を朝礼で唱和・暗記するなど日頃から理念を意識してサービスを提供するなど周知徹底している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	海岸清掃、鬼火だき、運動会等様々な行事へ参加したり、ボランティアへ来て頂いたり、交流を行っている。	自治会に加入し、管理者が集落の総会に出席したり、地域行事に参加して地域の方々と日常的に交流している。また、ホームの行事である夏祭りには地域や家族などへも参加を呼びかけ交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	職場体験や集落の方の相談も行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議のマナー化を防ぐ為、入居者に参加して頂いたり、レクの様子を見て頂いたり工夫している。	会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーからの質問や意見など活発な意見をもらいサービスに活かしている。家族には代表して会議に参加してもらっているところではあるが、管理者は、より多くの家族が会議に参加しやすいよう改善を進めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じたり、解らない事があればその都度相談している。</p>	<p>市担当者とは直接面談してその都度指導や助言などを受けて、報告している。地域密着型サービス協議会のメンバーであり、随時会議に出席して情報交換などしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を行い、全職員に意識づけを行っている。現在拘束は無い。施錠せず、見守り強化で対応している。</p>	<p>ホームは身体拘束をしない自由な暮らしを実践している。ふいに外出する利用者もいるが、地域に理解を求め、見守り、声かけや連絡してもらえる関係を築いており職員は見落とさない見守りや連携プレーができています。また、チャイムやセンサーに頼ることなく必要に応じて鈴など活用している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>拘束と同じように勉強会を行い意識づけを行っている。入浴時等の観察で、早期発見に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学習会や研修会への参加で学び、全職員が閲覧できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安なことや疑問点についてその都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。家族会や運営推進会議等で意見を聞き、面会時にも話しやすい雰囲気作りに努めている。遠方の家族へはTELで要望等を伺っている。	利用者には日々の暮らしの中で意見や要望など聞くようにしている。家族は、面会時や家族会にて意見交換し、遠方の家族には電話で、常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。出された意見や要望などは会議で話し合い、反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や職員会議で意見を出し合っている。気付きや改善して欲しい所などを文書でも提出できるように働きかけている。	管理者は朝礼やミーティング、部署会議で職員から意見を聞く機会を設けている。半期に1回運営方針を立て業務マニュアル、節電マニュアルなど細部に計画、実行している。職員は、“10分ソファ”にて利用者とコミュニケーションを取るよう努めて利用者の思いを確認している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回、育成表の提出と面談を行っている。その他にも必要時には面談の機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体で毎月学習会を企画している。新人研修、中堅研修等、力量に合わせた研修も実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修へ参加し、同業者との交流を図っている。研修の内容について伝達講習を行うことで、全職員がスキルアップできるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>より多くの情報を引き出せるよう、話しやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族が話しやすいよう、傾聴する姿勢を大切にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>生活情報を細かく聞き取り、何が必要かを見極めて対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>調理やシーツ交換など、できる事は一緒に行っている。会話の機会を多く持ち、寄り添いの時間を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	些細なことでも家族へ電話等で相談、報告を行っている。行事への参加を呼びかけたり、定期的なお便りで行事や日々の様子を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣へのドライブや買い物等の外出の機会を作っている。運動会、鬼火焚きなどの地域で行われる行事への参加、馴染の美容室の利用等行っている。	週1回は、ドライブや買い物などで外出している。電話の取次ぎも多い。介護計画に「墓参り」を計画し支援している方やユニット双方の利用者同士が行ったり来たりの付き合いをしている利用者もいる。行きつけの美容院にも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有空間が和やかな雰囲気になるよう配慮している。利用者同士で会話ができるような環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族からの相談があれば対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	要望等、話を聞く機会を多く持つよう努めている。一番風呂や食事の希望等を把握し、提供している。	10分ソファの活用を心がけており、利用者とのコミュニケーションを重視し、本人の思いや意向を聞き取るようにしている。また、家族の情報もケアの向上に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族より生活歴を伺い、施設の中で本人ができる事、したい事を把握し、サービス提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	水分・食事・排泄チェックなど、日々の観察を行っている。残された力を発揮できるような支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族や本人、主治医の意見を元に検討している。担当者が毎月モニタリングを行い、職員会議等で意見を出し合っている。	担当制を採用しており、部署会議では個別のカンファレンスを開催して毎月のモニタリング結果を踏まえ、課題分析表をもとに本人、家族、主治医の意見を反映した現状に即した介護計画を作成している。3ヵ月1回は、定期モニタリングをおこない、プランの見直しなどしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一度の担当者モニタリング、3か月に一度のプラン見直しを、皆で検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズ、要望等に添える支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	集落や地域の協力を得ながら、行事等行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族同行できない場合は、相談、報告を行い、納得されるよう支援している。	毎月、訪問診療にて適切な医療が受けられる体制がある。皮膚科、歯科、精神科などの他科受診にも柔軟に対応するしくみがあり、医療とは24時間対応できる医療連携体制が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の状態観察を行うと共に、異常時の受診や往診を早期に受けるよう体制を整えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>連携室への相談や情報交換を常に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族へは、入居時より重度化の説明を行っている。看取りでは同意書頂きその都度担当者会議を開いて、家族とも話し合っている。24時間のオンコール体制もとっている。</p>	<p>重度化や看取りについての指針があり、入所時本人、家族に説明している。その後は、重度化についてはその都度口頭での説明になっている。看取りにおいては、本人、家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるようにチームケアで支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>学習会等を通じて、緊急時に備えている。各棟にもマニュアルを掲示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い、自治会長等の協力を得ている。水害避難場所を事務所に掲示し、新人職員へも通知できている。</p>	<p>自治会長や分団の協力を得るなど地域の協力体制があり、夜間想定避難訓練を実施している。初期消火を徹底し訓練しており、両ユニットにパッケージ型消防設備を備えている。また、集落での災害訓練（津波想定）にも積極的に参加、備蓄もしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々は尊重しながら、親近感も大事にしている。接遇については学習会等で一番多いテーマとして行っている。	ホームは、接遇マナーについては特に力を入れており、年長者として敬い失礼のないような呼びかけし、言葉使いに留意している。ポータブルは、視線を逸らしたり布を掛けるなどプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定や希望を大事に行っており、その表出を促すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望に添えるよう努めている。食事・昼寝・散策や墓参り等の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で服を選ぶ方、シャンプーに拘りのある方、美容院送迎支援等行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好の把握を行い、別メニューを提供することもある。食事は職員も一緒に摂る。下ごしらえは一緒に行う方もいる。	献立は、専任の職員が中心となり作成、曜日を意識しパン食にしたり、新鮮な刺身を提供している。家庭菜園があり、料理に活用したり片付けなど個々の利用者の力量により手伝いをもったりしている。家族や地域から野菜などの差し入れがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分共にチェック表を使用。体重測定を毎月行っている。寝たきりの方へは、こまめな水分摂取を促している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は、同行し、自力で磨いて頂いた後、洗浄介助を行い、清潔が保たれている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表を使用し、把握に努めている。パットを使用している方が多く、その都度確認している。	排泄チェック表を活用し、排泄のリズムを把握しタイミングを図り誘導し排泄してもらっている。鈴を活用し自立した排泄動作や転倒防止を支援したり、気持ちよく過ごせるよう対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表やカレンダーを使いわかりやすくしている。個々に合わせて下剤やヨーグルト、牛乳等で対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の思いや体調に合わせて実施している。。起床してすぐにシャワー浴を行う方も居り、対応している。	一番風呂にこだわる方もおられ曜日を替えるなど工夫している。近隣の温泉施設にて温泉浴を楽しむことができるよう職員が付き添う方もおられたり、本人本位に入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたい時に休んで頂いている。居室だけでなく、居間ソファや畳部屋など、本人の希望する場所で休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により管理し、変更等あれば連絡ノートで周知している。症状の変化は看護師に報告を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理の下ごしらえ、洗濯物たたみや野菜の収穫など、出来る事を職員と一緒にさせて頂いている。本読みや外気浴なども、希望に応じて行えるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴や散歩へは職員も付き添い、見守っている。昔なじみの場所へ出かけたり、温泉、外食、魚釣りなど、計画を立て、安全に出かけられるよう支援している。	天候のよい日は、駐車場で外気浴やお茶を楽しんでいる。行事計画を作成し、初詣、お花見、鶴見学などを実施している。温泉や釣り、外食に出かけたり、家族の協力を得て外出したり、外泊を楽しむ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で財布を持たれている方が4名居り、買い物支援等を行っている。それ以外の方とも、一緒に買い物に出かけることもある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時に随時対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関へ季節の花を飾ったり、廊下や居間などの飾りはレクリエーションの時間を利用し、四季を感じて頂けるものを製作している。明るさや温度は調整しながら、居心地良い空間作りに努めている。</p>	<p>玄関ホールは両ユニットで共有できるスペースになっており、会議やレクリエーションに活用している。生花が飾られリビングには、ソファ、畳部屋があり、利用者に職員が添い寝をしたり思い思いに過ごせるよう工夫されている。また、中庭が増設され活用されている。台所と食堂は一体型設計で、食事の準備を手伝う利用者もいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>風除室で過ごす方も居り、空調管理している。居間での座席も限定せず、好きな場所で寛げるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に使用していた物を持ってきて頂けるよう働きかけている。</p>	<p>位牌、ソファー、整理タンス、ぬいぐるみなど馴染みの物を持ち込みそれぞれの利用者の居心地のよさに配慮している。家族写真や習字などの作品が掲示しており、採光がとれ掃除が行き届いた居室である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、居室等、目に付きやすいよう表示している。個々に応じて介助バーやPWCを設置する等、工夫して対応している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない